

■白石元治郎 実業家。“鋼管王”。日本鋼管を創立し経営、日本製鉄への合同拒否し、民営製鉄業リーダーになった。

しらいしもとじろう

大政奉還・・・1867＝

明治維新・・・1868＝ 1歳：

陸奥国白河郡釜子村で、榊原藩下級藩士で銀行支配人前山孫九郎の次男に生まれる。

のちに酒造業白石武兵衛の養子となる。

明治6年政変 1873＝ 6歳：

三つの内乱・1876＝ 9歳：

仙台中学校を経て、

明治14年政変1881＝14歳：

新体詩抄・・・1882＝15歳：慶応義塾に入学するが、

岩倉具視没・1883＝16歳：中退し、

秩父事件・・・1884＝17歳：大学予備門に入る。

内閣発足・・・1885＝18歳：

帝国憲法発布1889＝22歳：第一高等中学校を卒業。_帝国大学英法科に入学し、

大本教・・・1892＝25歳：_卒業。穂積陳重教授の岳父渋沢栄一から浅野総一郎を紹介され、浅野商店最初の学卒者として入社。

郡司千島探検1893＝26歳：信頼を得て、_新設された石油部支配人に拔擢され、

日清戦争始・1894＝27歳：

日清戦争終・1895＝28歳：浅野の次女と結婚。長女の夫は穂積陳重の弟でやはり法学者の八束で経営には疎いことから、_専ら浅野の事業面での相談相手となる。

白馬会・・・1896＝29歳：_浅野が東洋汽船会社の創立すると、同社支配人となって取仕切り、

子規句歌革新1898＝31歳：イギリスに出張。

Bushidou・・・1899＝32歳：サンフランシスコ支店詰となり、

教科書疑獄・1902＝35歳：帰国して、_同社専務となるが、

日比谷公園・1903＝36歳：

この間、南米航路開設も実現させるが、

日露戦争終・1905＝38歳：

アラビヤ創刊・ 1908＝41歳：運悪く、2隻の巨船を就航させた直後、日露戦後不況、アメリカの排日運動もあって_経営危機に陥り、_副社長に迎えた大川平八郎を補佐して経営の建て直しに努め、

大逆事件判決1911＝44歳：_配当復活とともに、常勤を外れることになる。大学時代の旧友今泉嘉一郎を訪ねて、口説き、

明治天皇没・1912＝45歳：*今泉嘉一郎が{日本鋼管}を創立するに際し、大川平三郎らと参加、社長となる。

実力高い故に自信過剰で協調を欠く今泉嘉一郎に対し、実業界稀にみる人格者といわれるほどで、その名が知られるようになるなか、

民本主義・・・1916＝49歳：_第一次大戦による欧州の衰退で、ブームが本格化するなか、

ロシア革命・1917＝50歳：_早くもその終焉を見越して、工業倶楽部宛に「白石建議書」を提出、

本格政党内閣1918＝51歳：浅野昼夜銀行の頭取も務めた。_巨額の利益を上げるも、

ベルサイユ条約・1919＝52歳：帝国人造肥料社長。

_ブームが終わって、経営難に陥り、

原敬首相暗殺1921＝54歳：*社長を大川平三郎に譲る。以後、副社長を務めるも、実質的経営者として社業整理に努め、この年早くも、前年国会議員に転じていた今泉嘉一郎に働きかけて、関税定率法を実現。

護憲三派圧勝1924＝57歳：白石同族合資会社代表社員。

_カルテルの熱心な推進者となり、

金融恐慌・・・1927＝60歳：_同業者に呼び掛けて、条鋼分野協定を実現。一旦回復する、

世界恐慌・・・1929＝62歳：_世界恐慌によって、まとも経営難に陥り、再び社業整理に奔走。

海軍軍縮条約1930＝63歳：

満州事変・・・1931＝64歳：

五一五事件・1932＝65歳：昭和鉱業社員、

国際連盟脱退1933＝66歳：_鉄鋼一貫体制を築くべく、商工省に高炉建設許可を申請、

帝人疑獄事件1934＝67歳：*製鉄合同によって成立した半官半民の日本製鉄株式会社(日鉄)への参加も拒否し、日鉄に対する純民間鉄鋼企業のリーダーとして、その中心的人物となった。高炉建設もようやく許可され、

二二六事件・1936＝69歳：_完成し、操業開始。

日中戦争始・1937＝70歳：_大川の死去により、東洋汽船会社取締役を退いて、再び社長となる。

健保+総動員 1938＝71歳：_さらに、トーマス転炉を導入して、

第二次大戦始1939＝72歳：

大政翼賛会・1940＝73歳：浅野良三の経営する鶴見製鉄造船と合併。

日米開戦・・・1941＝74歳：

・・・・・・・1942＝75歳：*日本鋼管の社長を退き、会長となり、

敗戦・・・・・・・1945＝78歳：_没した。

日本鋼管の変転とともに、系列下の南洋鉄鉱・川崎窯業・鉄鋼証券・鶴見臨港鉄道などの社長となり、その他に東京湾埋立・華中鉄鉱・日満鋼管・浅野セメント・開深炭販売などの取締役となった。